



2024年11月10日「まちとくらしの収穫祭」開催！ ～URまちとくらしのミュージアムで新たな風景をつくる社会実験～

独立行政法人都市再生機構（以下、UR都市機構）は、「URまちとくらしのミュージアム」（以下、ミュージアム）の緑豊かな屋外空間を使って、新たな風景をつくり出す活動、デザイン、ビジネスの実証実験「まちとくらしのトライアルプロジェクト」（以下、トライアルプロジェクト）を、7月から開始しています。

トライアルプロジェクトでは、ミュージアムを実験場に、昨年度実施した「まちとくらしのトライアルコンペ」（後述）の受賞企画9点のアイデア実現を試みています。

11月10日（日）、このコンペで選ばれた企画が一堂に会する社会実験「まちとくらしの収穫祭」を実施します。当日は、広場を使ったワークショップやスポーツの体験会、パブリックキッチンやミュージアム鑑賞後の余韻を楽しむコーナーの設置、マルシェや野外演劇など、新たな風景をつくる8つの試みが展開されます。



【報道機関のお問い合わせ先】

UR都市機構 技術監理部 企画課

電話：045-650-0705

UR都市機構 広報室 広報課

電話：045-650-0887

1 イベント概要

○日時 : 2024年11月10日(日) 10:00~17:00

○場所 : URまちとくらしのミュージアム【ワークショップ広場、ミュージアム棟、ラボ41】
(東京都北区赤羽台1-4-50)

○主催 : UR都市機構

○内容 : ①トライアルプロジェクトの各企画(別紙参照)

②公開企画会議:「ミュージアムから暮らしを豊かにする方法」(15:00~)

・トライアルコンペの受賞企画者と施設プロデューサーの馬場正尊氏等が、ミュージアムでの実践を通じての感想や今後の活動の展望等を公開議論します。

③ミュージアム棟の特別公開(予約不要)※最終入館時間:16:00

※ミュージアムのあるヌーヴェル赤羽台を会場に地域イベント「BONBON フェスタ」が同時開催予定

2 まちとくらしのトライアルプロジェクトとは

ミュージアム棟の展示空間だけではなく、そこを取り巻くパブリックスペース全体をミュージアムと位置付け、これからのまち・暮らしの未来の風景を探る実験場として様々なチャレンジを進めるものです。昨年度実施した「まちとくらしのトライアルコンペ」の受賞企画のアイデアをベースに、その実現を試みます。その活動を通して、将来、共同で新たな事業創出につなげる「事業パートナー」となることも視野に入れていきます。

参考:「まちとくらしのトライアルコンペ」特設サイト

URL: https://akabanemuseum.ur-net.go.jp/special/trial_competition/



まちとくらしのトライアルコンペ募集チラシ



9月14日(土) トライアル実践の風景

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・暮らしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



UR都市機構は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

UR MUSEUM NEWS



vol

03

TAKE
FREE

ミュージアムから
暮らしを豊かに

2024年11月10日 日

JR赤羽駅西口より
徒歩8分!

URまちとくらしのミュージアムの余白を使いこなす社会実験
まちとくらしの収穫祭を開催!

＼ミュージアム棟の特別公開と同時開催!／



公式サイト↑



URまちとくらしのミュージアム



ミュージアムの余白を使いこなして新しい日常をつくり出す 「まちとくらしのトライアルプロジェクト」が進行中

11月10日の「URまちとくらしのミュージアム」のイベントテーマは 収穫祭!

秋の収穫を祝う行事「十日夜」(旧暦の10月10日)にもちなみ、「まちとくらしのトライアルプロジェクト」を通じて育んできたユニークな活動、関係性が、ミュージアムのパブリックスペースに集結します!



まちとくらしのトライアルプロジェクトとは??

「URまちとくらしのミュージアム」のワークショップひろばの使いこなし方を実験し、新たな風景をつくり出すプロジェクトです。展示空間だけがミュージアムではなく、そこを取り巻くパブリックスペース全体がミュージアム。これからのまち・暮らしの未来の風景を探る実験場として様々なチャレンジをしています。ニーズのあるものはミュージアムのプログラムとして常設化することも見越して活動中。



収穫
1



赤羽台農耕地

キタバ・ランドスケープ
東京事務所

【開催日時】11/10(日)10:00~17:00
【場所】ワークショップひろば
【参加申し込み】要 【参加費】要

「農」を通じて人のつながりを街に広げる試み。ワークショップひろばでの「緑のカーテン」の育成や、種まきから収穫までの流れを体験できる野菜栽培ワークショップの開催を通じて、ゆるやかなつながりが生まれています。11月10日は育てたハーブを使ったお茶会や、ピザづくりのワークショップを開催予定。

詳細はこちら



緑と環境ミュージアム

手づくり建築工作舎

【開催日時】11/10(日)10:00~17:00
【場所】ワークショップひろば、ラボ41
【参加申し込み】不要 【参加費】不要



収穫
2

詳細はこちら



楕木鉢の色で植物に適した光環境を示すことで植物選びを楽しくし、緑豊かな環境を広げる試み。9月には鉢塗り&挿し付けのワークショップを実施しました。今後もワークショップや緑化住戸体験などを開催しながら、緑のある生活の楽しさを伝えていきます。ミュージアムのあちこちに置かれている鉢のQRコードを読み込んでみてください!

収穫
3



Let's enjoy! SlackLife

Let's enjoy!
SlackLife

【開催日時】11/10(日)10:30~16:30
【場所】ワークショップひろば
【参加申し込み】一部要 【参加費】不要

ラインの上でバランスを楽しむスポーツ「スラックライン」。地元高校生を中心としたチームが、ワークショップひろばの藤棚横で練習会や体験会を定期的に開催しています。11月10日は体験会のほか、樹木医とミュージアムの木々を診て回るワークショップを実施予定。体幹バランスのチャレンジにぜひ参加してみてください!

詳細はこちら



URまちとくらし図書館

株式会社ひらく

【開催日時】11/12(火)~11月30日(土)
11:00~14:00/16:00~(月・水・日・祝休み)
【場所】ラボ41 エントランスホール
【参加申し込み】要(ミュージアムツアー参加者対象)
【参加費】1000円(飲み物・軽食付き)



収穫
4

参加の
申し込みはこちら



ミュージアムツアーの余韻を楽しめる図書館が、ラボ41内に期間限定の実験としてオープン!「暮らしのこと」「家のこと」「建築のこと」「街のこと」「環境のこと」の5つのテーマで専門家が選書した本が並びます。本に囲まれた空間で、ミュージアムツアー後の時間をゆったりと過ごしませんか?ドリンク・軽食付き。

収穫
5



パブリックラボ

VUILD

【開催日時】11/10(日)10:00~17:00
【場所】ワークショップひろば
【参加申し込み】要 【参加費】不要

パブリックスペースにあったらいいと思うツールをみんなで考え、自ら手を動かしてつくることを目的としたワークショップを数回に分けて開催します。9月の「スターハウスツールづくり」に続き、11月のテーマは「パブリックツールで遊ぼう」。芝生の高低差を活かしてボールをゴールまで運ぶ、コロコロレールで、ミュージアム全体を遊び場にしよう!

詳細はこちら



AKABANEDAI MAPPING PROJECT

neighborGood

【開催日時】11/10(日)13:00~16:00
【場所】ワークショップひろば
【参加申し込み】不要 【参加費】不要



収穫
6

詳細はこちら



9月に集めたアイデアを元にみんなの想いを重ねて、巨大な未来マップをつくりあげよう!「URまちとくらしのミュージアム」で、みんながイメージする未来の赤羽をライブ形式で描きます。完成した未来マップは、パブリックを楽しく散歩したり、家族や友達と楽しく過ごすためのグッズになるかも!ぜひお越しください!

収穫
7



まちとくらしの文化祭 @赤羽台

佐野 雄二

【開催日時】11/10(日)10:00~17:00
【場所】ワークショップひろば
【参加申し込み】不要 【参加費】不要

北区でまちづくりに取り組むグループが、ひとのため、まちのため、やりたいことを持ち寄りつながりあう場をつくるプロジェクト。11月10日は、NPO法人彩結び(いろむすび)によるマルシェ(出張 いろどりチャレンジショップ)、さくらシアター☆ラボによる「団地」をテーマにした野外演劇などを企画しています。

詳細はこちら



DANCHI GROW MARKET

富士見台トンネル

【開催日時】11/10(日)~
【場所】ワークショップひろば
【参加申し込み】不要 【参加費】不要



収穫
8

詳細はこちら



参加型のシェアマーケットをつくるアイデアからスタートした企画。11月は、ひろばに大きなパブリックキッチンを設置する実験にチャレンジ!キッチンがあると、人の活動がどんな風に広がるのか?それを観察しながらニーズを汲み取り、本格設置の可能性も見据えた検証を行います。キッチンを囲んだ公開作戦会議も開催予定。

■施設概要

「URまちとくらしのミュージアム」は、我が国の住まいとまちづくりを対象とした「都市の暮らしの歴史を学び、未来を志向する情報発信施設」です。スターハウス等保存住棟4棟に新たな展示施設「ミュージアム棟」を加えた計5棟、さらに屋外空間からなるUR都市機構の企業ミュージアムになります（令和5年9月15日開館）。

ミュージアム棟では、我が国の鉄筋コンクリート造集合住宅の先駆けとなった、同潤会代官山アパートを始めとする4地区計6戸の「復元住戸」や壁床4面スクリーン投影による映像展示、模型やパネルを用いて都市と集合住宅の暮らしの歴史や変遷を紹介しています（公開概要は下記のとおり）。

登録有形文化財でもあるスターハウス等保存住棟4棟では、これからの暮らしの提案を行うほか、ストック社会に対応した改修技術等の実証フィールドとして活用します。当ミュージアムは、新たな暮らし方を探求し、トライアルする「まちづくりの実践場」として活動を展開します。



ミュージアム全景（南側）



ミュージアム棟

■ミュージアム棟の公開概要

1. 開館時間：10：00～17：00
2. 休館日：水曜日・日曜日・祝日（年末年始・臨時休館あり）
3. 見学方法：説明員付き館内ツアー形式（1回最大20名程度）でのご案内
1日3回（10:00～ / 13:00～ / 15:00～）
※復元住戸等、一部施設では車いす等での乗り込みが困難な箇所があります。
※保存住棟4棟については外観のみの公開になります。
4. 申込方法：公式WEBサイトでの事前予約制／入場無料
5. アクセス：JR「赤羽」駅西口より徒歩8分
6. 住所：東京都北区赤羽台一丁目4-50
7. 電話番号：TEL. 03-3905-7550
8. URL：<https://akabanemuseum.ur-net.go.jp>

